

「vehoma.pro」のセキュリティ対策及びその他

① セキュリティ対策について

吉井様の継続的なブログ投稿及びインスタアップが功を奏し、色々なキーワードで vehoma.pro が検索上位表示されるようになっていきます。

それに平行し、悪意を持ったハッカー等からも攻撃対象となる確率が高まりつつあり、現状のままでは乗っ取りやサイトデータベースの破損などのリスクが高まっており、まずは簡易的なセキュリティ対策を実施されることをおすすめします。

(1) ログイン URL の変更

ホームページ制作のベースとして、定番である「WordPress」にて構築しており、管理画面へのアクセス URL が共通して「〇〇〇.com/wp-admin」となっています。管理画面への URL が攻撃しようとする利用者に知られていると、突破される可能性が非常に高い状態ですので、管理画面の URL を変更する。

(2) ログイン時に ID・パスワード以外にランダムキーワードを追加

金融機関やポータルサイトなどにログインする際、4桁の数字やキーワードを別途入力してログインするサイトのように、ログイン画面にてランダムの全角ひらがなキーワードを発生させ、自動パスワード解析ツールなどを使った解除システムを回避する。



The image shows a WordPress login form with the following elements:

- WordPress logo at the top center.
- Input field for "ユーザー名またはメールアドレス" (Username or email address).
- Input field for "パスワード" (Password) with a visibility toggle (eye icon).
- A security measure: "らとずせ" (random hiragana) above the instruction "上に表示された文字を入力してください。" (Please enter the characters displayed above).
- Input field for the security characters.
- Checkbox for "ログイン状態を保存する" (Remember me).
- "ログイン" (Login) button.
- Link for "パスワードをお忘れですか?" (Forgot your password?).
- Footer with "へ移動" (Go to) link.

(3) データ（ブログ記事や画像）の定期自動バックアップ

不測の事態に備え、記事や画像のバックアップを定期的に自動でバックアップを行う（現在、当方で不定期にデータベースのバックアップ及び画像やファイル等のバックアップを手動にて実施）

(1)~(3)は、すべてのお客様に導入するよう告知しており、2022年12月1日現在では殆どのサイトで実施を行っております（殆どアクセスがない、会社パンフレットの的なサイトを除く）。昨年11月に仙台市のハンコ屋さんで、突然問い合わせフォームが利用できないと連絡があり調査を行ったところ、サーバーにホームページと併設しているネットショップの販売情報（個人情報）を先方に自動送信するスパムが仕込まれており、深い階層まで汚染されていた為、そのサーバーを捨て、バックアップ取っていたデータを基にし、新しいサーバーを契約し、再構築しました。

※ 基本、これらの導入費用としては、50,000円(税込)と、管理費として月1,500円(税込)をお願いしております。

何卒ご理解の程、宜しくお願い致します。

② ブログ簡易ライターの新バージョン

以前ご紹介した「Writer」の新バージョンへの移行をお願いします。こちらの現状使用していただいているツールも、数年ソフトのアップデートが行われておらず、セキュリティホールが問題となっております。

現状①に比べれば、優先度は高くありませんが、なるべく早く乗り換えをお願いします。

※現状、英語版のみのリリースとなっておりますが、現在使用していただいているソフトとほぼ同様に、使用に問題はないレベルです。

【「Open Live Writer」さまざまなブログサービスに対応した記事作成・投稿ソフトの UWP 版】

<https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/oplivewriter/>

③ 申し込みフォームについて

吉井様もお手持ちのスマホにて動作確認していただいているとおり、基本的には殆どのスマホ・タブレット・パソコンにて問題なく動作するようにフォームを制作しておりますが、複数台申し込みに対応させる箇所については、ホームページのベースである「WordPress」の機能には含まれておらず、当方でかなりカスタマイズを行ったものを実装しております。

よって若干動作が不安定及びうまく動作しない場合もあり、カバーしきれていないかもしれません。

複数台をカバーするには、オリジナルにてフォームを作成する必要があり、そうすると予算も高く（恐らく10万コース）なりますので、あまり現実的ではありません。

利用できない場合は、FAXの申し込みフォームを用意してダウンロードするようにするか、或いは現状のフォームの下部或いは「うまくフォームが利用できない人はこちら」とリンクを作り、1ページのフォームに5台程入力項目を用意してページの切り替えを少なくすることで、動作不安定を回避するなどの方法があります（何れにしてもフォーム製作することになるので、入力項目が多いと作業時間がかかり、5万円ほど）。